

# 花と湯の町 なかのじょう

7月

2015.7.1 No.639

## 特集

ついにラムサール条約登録！芳ヶ平湿地群

過去最大56会場！中之条ビエンナーレ2015

p4 p2

【写真】

芳ヶ平湿原周辺フォトコンテスト特選作品  
「ワタスゲの道」 前橋市 石田至勇さん



～わが町の文化財～

かとりもとひこ  
**四万温泉と楨取素彦**

ふるさと  
再発見  
(234)



大河ドラマ「花燃ゆ」の主人公・吉田松陰の実妹文の夫である楨取素彦は、明治九年に初代群馬県令（知事）に就任し、群馬県を全国有数の教育県にしたことで有名です。

百二十年前の温泉ガイドブック「吾妻温泉誌」（明治三十年刊・ミュゼ所蔵）、  
「四万温泉誌」（明治三十一年刊）には四万温泉の養老館（現「四万たむら」）を訪れた楨取素彦と吉田松陰の門下生品川弥二郎（後、内務大臣）ら著名人の詩歌が掲載されていますが、現在は楨取と四万温泉の強い結びつきを知る人は多くありません。

今年、「四万たむら」で明治二十九年二月に楨取素彦が館主・田村茂三郎に宛てた手紙に添えられた自筆の和歌が発見されました。これは十一代茂三郎（大正九年没）が「書画帖」に表装して保管していたものです。宮中歌会始・勅題「寄山祝」で四万を詠んだ一首「天の原ふりさけみえし島（四万）やまも皇國となりけるかな」です。

宮中歌会始は正月に皇居で催されていますが、明治二十九年前後は日清戦争や英皇太后崩御などの為に中止が続き、四年間たった一度だけ開催された歌会でした。

楨取は明治十七年に元老院議員に転じ、惜しまれながら群馬県令を辞したので、この手紙が送られたのは群馬を離れてから十二年後に当たります。翌明治三十年には妻・文と共に明治天皇第十皇女・貞宮内親王の御養育に就き、宮中での役割が多くなっていく時期でした。

楨取素彦と田村茂三郎は文明開化の世の中で、教育の重要性を共に感じていました。明治初年頃、茂三郎は温泉湯宿を経営する傍らで寺子屋を開きました。また沢渡出身の和算の大家剣持豫山の門人として名を連ねる教育家だったので、楨取県令と厚い親交を深めていたものと思われる。

楨取が四万温泉を訪れた時期は特定できていませんが、師弟関係にあった品川弥二郎が養老館で湯治をした明治十七年頃で

あったようです。品川弥二郎は四万で二首の狂歌を詠みました。「粥腹も四万の薬師のおかげにて強飯さえも五杯六盃」は日向見薬師堂と新湯温泉薬師神社の横に歌碑があります。「三七日の四万の薬師の効ありて五臓六腑に病なかりけり」は十二代茂三郎が刻書にして玄関に展示してあります。裏面には「子爵 品川弥二郎 口筆 本歌は明治十七年八月七日 子爵が「粥腹」の歌と併せ詠みて養老館 十一世田村茂三郎に贈り 訣別の記念とせり」と書付があります。

また、楨取は熊谷県令就任直後の明治九年に衛生行政の一環として温泉入浴規則を頒布するなど、温泉療養を政策に組み込んだ最初の政治家の一人です。群馬県立文書館には当時の「四万入浴者心得」が展示・保管されています。教育や医療政策に取り組む楨取県令の情熱が感じ取れます。

文化財専門委員 山口通喜

**中之条高校  
図書館一般開放**

中之条高校では、町民を対象に、図書館開放を行います。

開放日 7月27日（月）、29日（水）～31日（金）

時間 9時～12時、13時～15時

利用できるサービス 図書・雑誌・新聞の閲覧、図書の貸し出し（一人3冊まで、2週間）

利用方法 正面玄関から入り、必ず校内事務室で受付を

してから利用してください。その他 貸出には身分証明書（運転免許証、保険証、学生証など）が必要です。問い合わせ 県立中之条高等学校 ☎75・3455 担当 串淵



**奥四万湖散歩  
ダム見学**

日時 7月26日（日） 9時30分～14時

集合場所 奥四万湖（堰堤手前駐車場）

内容 奥四万湖一周散歩  
ダム見学

参加費 無料

申込方法 7月17日（金）までに電話で申し込みください（先着50名）。

**その他**

申し込み・問い合わせ (二社) 四万温泉協会 ☎64・2321

サマージャンボ宝くじ  
7月8日同時発売

今年、サマージャンボ宝くじ史上最高額の1等・前後賞合わせて7億円です。この宝くじの収益金は、市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

発売期間 7月8日（水）～31日（金）

抽せん日 8月11日（火）

